さいたま 道の駅めぐり手帖

SAITAMA

vol.2

祭りの文化を伝える秩父吉田の里

龍勢会館

秩父市吉田にある道の駅「龍勢会館」は、毎年 10 月に行われる伝統行事「龍勢祭」の文化を伝える拠点です。館内では、手作りロケット“龍勢”が地域でどのように受け継がれ、祭りとして根付いてきたのかを紹介しており、秩父吉田に息づく祭りの精神に触れられるスポットです。



龍勢の歴史と伝承

■ 龍勢の歩みと技の継承

館内では、江戸期から続く龍勢の歴史を、資料や模型、実物の部材を通してたどることができます。さらに、150 インチの大スクリーンによる映像展示では、ロケットの製作工程や祭り当日の打ち上げの様子が紹介され、映像を通してより深く感じ取ることができます。



■ 流派の個性と文化の広がり

展示では、各流派が守り続けてきた特徴やショイモノ（仕掛け）の違いも紹介されており、龍勢が単なるロケットではなく、地域文化として深く根付いてきたことが伝わります。火薬の扱い方や竹の組み方など、細部に宿る職人技を知ることで、祭り当日の打ち上げがより奥深く感じられる内容となっています。



店長のおすすめポイント

手作りロケット『龍勢』の
迫力と職人技の歴史を、大画面の映像や実物部材で
じっくり体感できます！館内見学のあとは、龍勢茶屋へ。
ココだけの「龍勢まんじゅう」のほか、秩父名物の
『おなめ』『しゃくし菜漬』、大滝食堂のボリューム満点！
オイルタンク型『バイク弁当』など
ここでしか味わえないローカルな味覚も
ぜひお楽しみください！

龍勢茶屋（農産物直売所）





特産品コーナーには、吉田の食文化を映す品々が並びます。郷土食の“おなめ”（大豆と野菜を細かく刻み、味噌で和えた保存食）や、秩父の冬を代表する伝統野菜・しゃくし菜の漬物が人気です。

季節の農産物や手づくり加工品が並ぶ棚からは、地域の暮らしと四季がそのまま立ち上がるような温かみが感じられます。



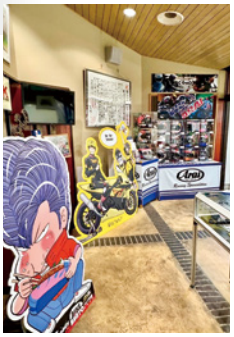




旅の途中で味わいたい、大滝食堂のバイク弁当

大滝食堂では、名物の「バイク弁当」が楽しめます。タンク型の弁当箱に盛られた豚唐揚げはインパクトがあり、観光客やライダーが立ち寄る名物として親しまれています。ほかにも豚丼やカレーなどがあり、旅の途中で気軽に立ち寄って味わえます。







秋空を彩る龍勢祭

毎年 10 月に開催される龍勢祭（今年度は 10 月 11 日）では、流派ごとに工夫が凝らされた龍勢が秋空へ駆け昇ると会場からは拍手と歓声が送られます。

空高く昇りつめた龍勢から落下傘が開くと、その姿は多くの観客を魅了し、秩父の歴史と伝統、そして人々の気持ちが一つにまとまる瞬間が会場全体を温かな一体感に包みます。





道の駅 龍勢会館



■所在地：埼玉県秩父市吉田久長 32
■ TEL：0494-77-0333
■ホームページ：
https://www.ryuseinomachi.co.jp/ryusei/index.htm
■営業時間：9:00 ～ 16:30（最終受付 16:00）
■定休日：火曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）
■入館料：大人 350 円／小中学生 200 円／未就学児無料
■駐車場：普通車 74 台・大型 9 台・障がい者用 3 台



■アクセス：花園 IC から車で約 40 分／
西武秩父駅・皆野駅からバス「龍勢会館」下車